サポート情報記事

Questions and Answers のアクセス許可、データ保存、プライバシー

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

管理者向けの概要 4

ソリューションのアクセス許可 5

リスト 5

誰が何をできるか 5

　公開させずに質問を許可する 6

　ゲスト 7

添付ファイルとコメント 7

テナントの外に送信されるもの 7

レポート作成とエクスポート 9

概要

Questions and Answers は、すべてのデータを自社サイトの SharePoint リストに保存し、サインインしているユーザーの権限で読み書きする SharePoint Framework Web パーツです。この一点でセキュリティに関する疑問の大半には答えられますが、誰が質問でき、誰が公開でき、何がテナントの外に出るのかを決める際には詳細が重要になります。この記事は、そうした判断のためのリファレンスです。

管理者向けの概要

質問	回答
パッケージはどの API アクセス許可を要求しますか?	要求しません
誰の ID が使用されますか?	すべての読み取りと書き込みで、サインインしているユーザーの ID
質問、回答、添付ファイル、コメントはどこに保存されますか?	Web パーツが実行されるサイトの 1 つの SharePoint リスト
Web パーツは他の場所に何かを保存しますか?	いいえ。Vitextra のサーバーにもブラウザーにも保存しません
ナレッジ ベースを閲覧できるのは誰ですか?	リスト (およびページ) に対する**閲覧** (Read) 権限を持つすべてのユーザー
質問できるのは誰ですか?	リストに対する**アイテムの追加** (Add Items) アクセス許可を持つユーザー
回答を公開できるのは誰ですか?	リストのアイテムを**編集**できるユーザー
Vitextra に送信されるものは何ですか?	ライセンス確認と使用状況テレメトリのための技術的な識別子のみ。コンテンツは送信されません
サードパーティ サービスは使用しますか?	編集者が質問にそのリンクを入れた場合の YouTube または Vimeo のプレーヤーのみ

ソリューションのアクセス許可

- パッケージは **API アクセス許可を要求しません。**SharePoint 管理センターの **API アクセス** ページには何も表示されず、Web パーツが Microsoft Graph を呼び出すこともありません。
- Web パーツは、現在のサイトの **SharePoint REST API** を使用して、リスト、アイテム、添付ファイル、コメントの読み取り、リストとその列の作成、質問の追加、コメントの追加を行います。すべての呼び出しはサインインしているユーザーの ID で行われ、SharePoint がそれぞれにアクセス許可を適用します。
- 連絡先担当者およびメンションされたユーザーのライブ プロファイル カードは SharePoint の標準コンポーネントであり、SharePoint 自体から読み込まれます。

リスト

Web パーツは、KB10382. Questions and Answers Web パーツの設定リファレンスで説明している列を持つ**カスタム リスト**を作成 (または既存のリストに接続) します。これは**サイト コンテンツ**にある通常のリストです。

- 継承を中止しない限り、サイトの**アクセス許可**を継承します。
- 他のリストと同様に、テナントの**保持**、**電子情報開示**、**監査**、**バックアップ**の対象になります。
- リストの設定で**バージョン管理**を有効にすると、回答の履歴を保持できます。
- **NoCrawl** が設定された状態で作成されるため、そのアイテムは SharePoint の検索結果にも Microsoft 365 の検索にも表示されません。Web パーツには独自の検索機能があります。質問をグローバル検索で見つけられるようにするには、**リストの設定 → 詳細設定**で**このリストのアイテムを検索結果に表示する** (Allow items from this list to appear in search results) を *はい* に設定します。
- ページから Web パーツを削除してもリストは削除されません。リストを削除すると、質問とその添付ファイル、コメントが削除されます (通常の期間内であればごみ箱から復元できます)。

Web パーツ自体の設定 (接続されたリスト、スイッチ、並べ替え、ページ サイズ) は、ページの Web パーツ プロパティに保存されます。

誰が何をできるか

リストに対する SharePoint のアクセス許可レベルから、3 つの役割が導かれま

す。

役割	必要なもの	できること
閲覧者	リスト (およびページ) に対する**閲覧** (Read)	参照、検索、回答の展開、添付ファイルを開く、リンクをたどる、質問へのリンクのコピー、コメントの閲覧
質問者	リストに対する**アイテムの追加** (Add Items) – **投稿** (Contribute) と**編集** (Edit) に含まれます	閲覧者ができることすべてに加え、**Ask a Question** (質問の追加) とコメントの追加
編集者	リストに対する**アイテムの編集** (Edit Items) – **投稿**と**編集**に含まれます	上記すべてに加え、回答の記入、カテゴリと添付ファイルの設定、**Published = Yes** の設定

Ask a Question ボタンは、ユーザーがリストに対する**アイテムの追加**アクセス許可を持っていることを Web パーツが確認した場合にのみ表示されます。プロパティペインのスイッチは機能を有効にし、アクセス許可が誰に表示するかを決めます。未公開の質問は、ユーザーのアクセス許可にかかわらず Web パーツに返されることはなく、編集者はリストでのみそれらを確認できます。

公開させずに質問を許可する

投稿アクセス許可レベルでは、ユーザーはアイテムを追加でき、さらに任意のアイテムを編集できます。他のユーザーの下書きに **Published = Yes** を設定したり、回答を変更したりすることも含まれます。全員が質問できるようにしつつ、公開を編集者の手に留めておくには、次のようにします。

1 リストを開き、**設定 → リストの設定 → 詳細設定**を開きます。
2 **アイテム レベルの権限** (Item-level Permissions) の**作成および編集のアクセス権**で、**ユーザーが作成したアイテムの作成および編集** (Create items and edit items that were created by the user) を選択します。
3 幅広い対象者にリストに対する**投稿**を付与し、編集者グループには**編集**を付与

します (またはリストの所有者にします)。**編集**以上のレベルは、アイテム レベルの設定による制限を受けません。

この設定により、従業員は質問を送信し、後で*自分*の送信内容を編集できますが、他のアイテムには触れられません。公開は編集者が行います。必要に応じて、**読み取りアクセス権**を**すべてのアイテムの読み取り** (既定) に設定し、Web パーツが公開済みの質問を全員に表示できるようにします。

警告

リストに対する**アイテムの追加**アクセス許可は、Web パーツからだけでなく、SharePoint のユーザー インターフェイスからも自分のアイテムに添付ファイルとコメントを追加できることを意味します。リストの詳細設定 (添付ファイル、コメント) は、許可したい内容に合わせて調整してください。

ゲスト

サイトにアクセスできるゲスト ユーザーは、そのアクセス許可レベルに応じて閲覧者または質問者になります。ゲストの場合、ライブ プロファイル カードに表示される情報は少なくなることがあります。ページを外部共有してもリストは共有されません。ページは開けてもリストにアクセスできないユーザーには、質問の代わりにエラーが表示されます。

添付ファイルとコメント

添付ファイルは、リスト アイテムとともにリスト自体の添付ファイル フォルダーに保存されます。アイテムのアクセス許可に従い、アイテムとともに削除されます。コメントはアイテムの SharePoint リスト コメントです (KB10381. Questions and Answers のコメント、@メンション、ディープ リンクを参照)。**詳細設定 → コメント**でリストに対して無効にできます。

テナントの外に送信されるもの

目的	送信される内容	送信先
ライセンス確認	テナント ID、ユーザーのオブジェクト ID、サイトのアドレス、製品の識別	`vitextra.com`

目的	送信される内容	送信先
	子、名前、バージョン	
使用状況テレメトリ	Web パーツの読み込み時のイベント (製品とバージョン、サイトの ID とアドレス、ユーザーのオブジェクト ID、インターフェイスの言語、Web パーツが Teams で実行されているかどうか) と、エラーの技術的な詳細	Azure Application Insights
製品ファイル	Web パーツのスクリプトとアイコンに対する通常の要求	`static.vitextra.com`、`vitextra-storage.azureedge.net`
動画プレーヤー	質問に YouTube または Vimeo のアドレスがあり、**Video** (ビデオ) が表示されている場合: ブラウザーが `youtube.com` または `player.vimeo.com` からプレーヤーを読み込み、これらのサービスにはユーザーのブラウザーの通常の要求が届きます	YouTube、Vimeo
ファイルの種類のアイコン	添付ファイル カード用のアイコン。Microsoft の CDN から読み込まれます	`static2.sharepointonline.com`

質問、回答、添付ファイル、コメントが Vitextra やサードパーティに送信されることはありません。Vitextra 製品全体の全体像は、KB10363. Vitextra 製品がデータを保存する場所: プライバシー、データ所在地、GDPRで説明しています。

メモ

組織がイントラネットでの YouTube や Vimeo のコンテンツを許可していない場合は、**Video** を*非表示*のままにするか、SharePoint に保存した動画を使用してください。ドキュメント ライブラリ内の `.mp4` ファイルへの直接リンクは、外部への要求なしにブラウザー自身のプレーヤーで再生されます。

レポート作成とエクスポート

コンテンツはリストなので、標準のツールが使用できます。リストのコマンド バーからの **Excel にエクスポート**、リストに対する **Power BI** レポート (たとえば、カテゴリごとの質問数、未回答の送信内容の経過日数)、質問が送信されたときに編集者に通知する **Power Automate** フロー (トリガー *アイテムが作成されたとき*と **Published = No**)、および同じ目的の**リストの通知**です。